

## 事例7 中学校・1年生

### 自己の生き方・考え方について、多面的・多角的に考える授業

1 主題名 充実した生き方を求めて 内容項目 A 向上心、個性の伸長

2 ねらい 登場人物の心情を多面的・多角的に考え話し合う活動を通して、ジェンダーバイアスの問題に気付き、性別に関わりなく自分らしい生き方を追求する心情を育てる。

教材名 男らしさ女らしさ、自分らしさ

(出典:「彩の国の道徳『未来に生きる』埼玉県教育委員会」)

#### 3 主題選定の理由

##### (1) ねらいや指導内容について

本主題は、自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求することに関するものである。多様な生き方が認められるようになってきた現代であるが、中学生の発達の段階では他者と異なることに抵抗をもつ生徒が少なくない。これから時代を生きていく生徒たちが「自分らしさ」を出すことを恐れず、互いを尊重し、他者との関わりの中で自分らしさを發揮して充実した生き方を追求するためにどんなことを大切にしたいか、自分事として捉えさせたい。

##### (2) これまでの学習状況及び生徒の実態について

年度当初から学年集会等において、他者と異なることは普通であり否定するものではないことを学習してきている。しかし、自分にとっての「普通」と異なる言動や価値観をもつ相手に対して、幼さから陰口を言ったり避けたりすることがあった。自分らしく生きている人たちの存在については、例えば芸能界やSNS等で認識している。一方で、自分自身も多様の中の一人であることや、主人公のような悩みを抱える人たちに対してバイアスをもっている自覚はない。一人ひとりが自分らしく生きることを追求するよさや、それを尊重する心情を育てたい。

##### (3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、主人公が友達との関わりの中で「自分らしく」生きることについて考えていく内容である。主人公のように「自分らしさ」を出すことを躊躇するのはどうしてなのか、多面的・多角的に考える活動を通してねらいにせまっていく。個性とは、他者との関わりの中で気付いたり伸ばそうとしたりするものであり、個性を出しやすい環境の存在も必要である。みんなが自分らしく生きやすくするために、自分にできることについても深く考えさせたい。なお多様な考え方をもつ生徒もいるので本教材を活用する際、配慮する必要がある。

#### 4 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	予想される生徒の反応	・指導上の留意点 ☆評価の視点
導入7分	1 ピンク色と水色の紙を配布し、好きな方を一枚選んで取らせる。(色の枚数は、それぞれ座席の男女の人数と合わせてある。)	・(特に何も指示されないけれど)どちらの色を選べばいいのかな。	・課題を明確にする。ジェンダーバイアスをもっていることに気付かせ、ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。

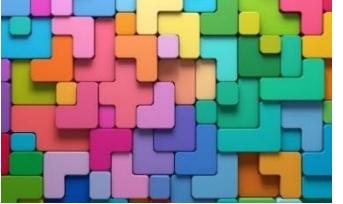
課題を自分事としてとらえ、問題意識を高めるための導入

体験をもとに「自分もジェンダーバイアスをもっている」という課題意識をもたせることが目的である。

S: 男子が水色ですか? → T: 何でもいいですよ。

S: (縦列の男女の人数を数えて、性別によって色分けされていると判断する。)

S: (男子)面白いからピンクにしよう。T: (配布した後は、特に何も言わない。)

導入	<p>T : (画面に右の絵を映す。) この中から、「自分らしさ」を表す色を一色選んで下さい。選んだ色とその理由について意見交換をしましょう。 →S : (3人班で意見交換をする。)</p> <p>○生徒の会話の一部</p>	
7分	<p>S : 「私は前向きだから黄色。」 S : 「確かにそうかもね。いいね。」</p> <p>S : 「俺は習っているサッカーとかに熱くなるし負けず嫌いだから赤。」</p> <p>S : 「難しいなあ。ちょっと優柔不断だから紫。」</p> <p>T : それでは、自分が選んだ色に手を挙げてください。赤・オレンジの人はいますか。</p> <p>T : みんな選んだ色が違いますね。最初に選んだカードを、みんなが見えるように上げてください。(全体を確認する。) 何か感じることはありますか。</p> <p>S : <u>男子は水色、女子はピンクが多い。</u></p> <p>T : どうしてその色を選んだのですか。</p> <p>S : なんとなくイメージがある。 →T : (画面に右の絵を映す)</p> <p>T : こういうイメージはありませんか。 →S : (うなづく)</p> <p>T : <u>このイメージや思い込みを、ジェンダーバイアスといいます。</u></p> <p>先生も含めて、みんながもっていると思います。でも、みんなが選んだ自分らしい色はバラバラでした。このように、本当は性別関係なく一人一人違う好みや個性、自分らしさをもって生きてよいはずであると思いませんか。</p>	 

	<p>(1) 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: 0;">「自分らしく」生きることについて考える。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちはジェンダーバイアスが存在する中で生きているが、それによる違和感や課題も存在していることを実感させる。</li> </ul>
展開	<p>2 教材を読んで話し合う。</p> <p><b>【p.2 終わりまで範読】</b></p> <p>(1) あなたは、寛幸のような気持ちを経験したことがあるか。</p> <p><b>【p.3 から範読】</b></p> <p>(2) 登場人物の4人は、「個性」に対してそれぞれどのような考えをもっているのだろうか。</p> <p>・3人班で意見交換をする。</p> <p>・全体で意見交換、共有をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(女子) スカートを履きたくなかった。</li> <li>自分の好きなものが変なのか、友達と比べて悩んだ。</li> <li>(男子) 小学生の頃、お菓子作りが好きだったが、バカにされた。</li> </ul>
41分	<p>○寛幸について</p> <p>S : 自分の個性だから、自分の好きでいいじゃないか。</p> <p>S : 個性は大事にしたいけれど、本当の自分を出しづらい。</p> <p>S : 好きなものは人それぞれで、それが個性なのに。</p> <p>T : どうして出しづらいのかな。</p> <p>S : 周りと違うと思われそう。バカにされそう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの自分の生き方と重ね合わせて考えさせる。寛幸が自分の好きなものや、やりたいことに自信をもつことができていないことに気付かせる。</li> <li>拓巳のようにジェンダーバイアスをもっていることに気付かせる。</li> <li>意見の発表会ではなく、お互いの意見に対して「なぜそう思うのか」などと聞いたり、話合いを通して考えが深まったりする活動にさせる。</li> <li>恵や星香のように、自分や相手の個性を大事にする生き方のよさに気付かせる。</li> </ul> <p>予想通り、「寛幸のような気持ち」を経験したことがある生徒は少なかったが、経験がないからこそ、寛幸のモヤモヤした気持ちや悩みを想像する活動につながった。</p>

### 考えを深めるための補助発問

#### ○拓巳について

S : 拓巳の中で、性別による概念が決まっている。

T : どうして個性に対してそういう考え方なのかな。

S : それが拓巳の個性だから。

T : 拓巳の考えは間違っているかな。悪い人かな。

S : 悪い人ではないけど、個性を否定されて嫌な気持ちになる人はいるかも。

S : 拓巳に賛成はできないけど、拓巳の意見によって考え方方が変わり、星香のように「自分らしさ」を大事にしようと気付けるかも。

拓巳の発言は時代に相応しくないが、拓巳のような存在も必要であるという結論が出ていた。

「拓巳の意見によって考え方方が変わるかも」という意見は非常に興味深く、聞いている生徒たちは「なるほど。」「確かに。」などとつぶやいていた。

#### ○星香について

T : 次は星香について考えます。 →S : 星香かっこいい。 S : 確かに。

T : どんな所がかっこいいと感じますか。

S : 周りを気にせず、自分の好きなことを貫いている。

T : 自分の好きなことを好きと言える。

T : どうして星香は自分の個性を大事にしているのだろう。

S : 自分の考えを大事にしたほうが、人生が楽しくなる。

S : そのほうが自分を好きになる。

このような反応があったので、問い合わせをしてみた。その後の星香の分析についても、生徒たちなりの言葉で星香の考え方をまとめることができていた。

星香の分析については、本時の内容項目と深く結びついているため、彼女のよさを掘り下げて考え、話し合いで深めることができていた。

以下の（ ）内のように、「性別関係なく自分らしくあることのよさ」まで掘り下げていけるように発問をしていくことが重要である。

(S : 性別関係なく、自分の好きなことを大事にしている。)

#### ○恵について

S : 個性は尊重するべき。大事にするものだと思っている。

S : 性別による基準や当たり前の価値観をもっていない。

T : どうして恵は個性を尊重しているのだろう。

S : 個性を大切にしないと、自分が自分じゃなくなるから。

S : 性別の基準はいらない。すると、自分の好きなことができないし自分らしく生きられない。

下線の意見は、本時のねらいにせまるものだと感じ、終末につなげた。

### 3 恵や星香のように、自分の個性を大事にしている人を知る。

今回はドראグクイーン（※主に男性が女性の衣装を身に付けてパフォーマンスを披露するパフォーマー）を紹介する。

・恵や星香のように、自分の個性を大事にする人の生き方のよさに気付かせる。また、個性を尊重してくれる理解者が周りにいると、「ありのままの自分らしく」生きやすくなることも気付かせる。

☆多様な価値観を認め合う環境で「自分らしく」生きるよさについて、様々な視点から考えている。（机間指導・発表）

## ねらいとする価値について自分事として捉えさせる教材の工夫

T：星香や恵のように、自分らしさを大切にしている方を紹介します。

(順番に写真を写す。ドראグクイーンの紹介と同一人物であることを伝える。)

S：(驚きの声が上がる。)

T：写真を見てどう感じましたか？

S1：派手。 S2：かっこいい。 S3：目立つ。

T：どんな所がかっこいいと感じますか？

S：自分の好きなことを貫いている所。

S：性別関係なく、自分の好きなことをやっている所。

T：嫌な思いをしたらごめんなさいね。

では、友達が性別のイメージと違う  
ものが好きだったとしても、応援で  
きますか？

ドראグクイーンの方は芸能関係者であるため、認められている感覚が強い。生徒の実態に配慮しつつ、自分の生き方と結び付けて考えさせたかったため問いかけた。

S：すぐに発言が出なかつたり、渋々「なんてリアクションをするか悩む」という発言が出たりした。また、発言していいのか悩んでいる様子もあった。

S1：驚いてしまうかも。 S2：戸惑う気持ちがあるかも。

生徒たちに感じてほしかったのは、ジェンダーバイアスによって違和感を抱くこともあるのが現実であり、この感覚を完全になくすのは難しいかもしれないことである。ただし、「好きなものや個性を否定するのは違うこと。」「周りに星香や恵のような人がいると、みんなが自分らしく生きやすいかもしれないこと。」などを説話の一つとして加え、終末の「自分」のこれから生き方を見つめる活動につなげた。

### 4 振り返りをする。

- ・みんなが「自分らしく」あるために、「私は」どのような思いを大事にしていきたいか。

(1)本時の学びをもとに振り返りを書く。

(2)発表する。

- ・相手の好きなものを尊重する。
- ・普通を決めつけない。
- ・自分と違っても否定しない。
- ・自分らしく生きて、みんなも同じようにしやすい環境にする。

☆みんなが「自分らしく」あるために、「私は」どんなことを大事にしていきたいか、自己を見つめて考えている。

(ワークシート・発表)

## 本時の学びをもとに振り返りを書くための指導の工夫

理想論や他人事のような振り返りで終わらないよう、「私が」大事にしていきたいことという視点をもって振り返りをするよう話をした。多くの生徒は、「誰もが自分らしさを出しやすい環境」が大事だと捉えていた。これだけでは他人事だが、「友達が自分と違っても受け入れたい。」や「友達の好きなことを支えられる人になりたい。」など、自分が周りとどのように関わって生きていくのか考えた記述もあった。また、これから自分の生き方について考えたことが分かる記述も多かった。例えば、「自分の人生は自分のものなので、自分らしさをつらぬきたい。」「周りに何と言われても、自分の個性に自信をもちたい。」「決めづらいで生きていくたい。」などである。一人一人、自己を見つめることができていたと考える。

終 末 2 分	5 教師の説話を聞く。		
	<p>説話の工夫</p> <p>生徒の振り返りを複数人に発表させた際、教師の説話が不要だと感じるほど、一人一人が教材に対して深く考えられていると感じた。そのため、生徒たちには率直に「私のお話はいらないほど、みんなよく考えることができますね。」と伝えることにした。この教材に限らず、今まで同じような経験がある。生徒の振り返りが「十分価値にせまることができている」と感じた際は、教師の説話は生徒の力を借りつつ、シンプルな言葉でもいいのではないかと考える。今回は、「友達を『支えたい』」という言葉に対して、このような気持ちを抱いたすばらしさやよさを全体で共有した。「このように思ってくれている友達がいたら、自分らしく生きやすくなるね。」という言葉も添えた。また、一人一人が違うことや、それは素敵であることに再度触れ、「自分を大事にして生きていこう」というまとめにつなげた。</p>		

5 板書



## 6 他の教育活動との関連

事前指導	事前アンケートにより、ジェンダーバイアスについて考えさせ、ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。
事後指導	振り返りを掲示し、自分がどのようなことを大事にしていくのか意識させる。
家庭との連携	生徒の振り返りを学級通信等で紹介し、家庭でも生徒たちの心の発達の段階を把握してもらったり、「自分らしさ、個性」について話題にしてもらったりする。

7 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・多様な価値観を認め合う環境で「自分らしく」生きるよさについて、様々な視点から考えている。

【道徳的価値についての理解を自己との関わりで深めている様子】

- ・みんなが「自分らしく」あるために、「私は」どんなことを大事にしていきたいか、自己を見つめて考えている。